

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		我が家のCO2ダイエット宣言				所管	環境清掃部 環境課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	105	計画事業名	我が家のCO2ダイエット宣言		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (3)持続可能な都市環境づくりの推進					[事業開始] 平成 1 5 年度	
		[施 策] ① ヒートアイランド・地球温暖化対策の推進[40]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区環境MVP表彰要綱			
	事業対象	一般区民						
	事業目的	地球温暖化の普及啓発や家庭での省エネの実践を促すことで、区民のライフスタイルを環境配慮型へと変え、地球温暖化の最大の原因であるCO2排出量を削減する。						
	事業内容	(1)日々の生活で省エネに取り組むための「我が家のCO2ダイエット宣言」の実施。(宣言証を26年度よりマグネットシートから、照明や電化製品のスイッチ等に貼り省エネへの注意喚起ができる再剥離シールに変更) (2)夏季の省エネの取組みを募集し、優秀な個人、団体を表彰する「環境MVP」を実施。応募者に省エネ診断書を交付。 (3)区立小学校3～6年生の夏休みの課題として「こどもかんたん省エネカレンダー」を配布。 (4)地球温暖化対策に関するイベントの実施(環境セミナー、環境MVP記念講演)。 (5)広報紙、ホームページなどで地球温暖化、省エネに関する普及啓発を行う。						
委託の有無	一部委託		委託内容	環境MVP・省エネカレンダーのデータ集計及び分析委託 環境MVP表彰式の看板作製・講師派遣委託、設置委託、環境月間イベント業務委託				
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	イベントの開催 回		2	2	2	2	
	成果指標	宣言者数(累計) 人		10,000	5,399	7,078	8,069	
		小学生省エネ取組人数 人		3,600	3,905	3,518	3,586	
	決算額 (単位:千円)				3,492	3,017	2,800	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			4,500	5,831	6,817	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			3,473	3,003	2,785	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			20	15	15	
		総経費			7,993	8,849	9,617	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			1,896	1,796	1,400	
一般財源(区負担額)			6,097	7,053	8,217			
前年度から改善した事項		集客の効率化や啓発効果をより高めるために、これまで区役所で単独で行っていた環境MVP表彰式及び記念講演をエコフェスタ内で実施した。また、広報紙やホームページなどで省エネ対策を紹介する際には、具体的な電気料金やCO2の削減効果等を記載し、より省エネ行動を促進するための工夫を行った。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	地球温暖化対策は急務であるが、家庭からのCO2排出量は依然として多い。継続して無理なくでき、効果の高い家庭での省エネ対策を引き続き支援していく必要がある。					
	効率性	3	環境MVPの集計・分析委託内容を見直したことにより、事業の効率化を図った。また、環境MVP表彰式及び記念講演をエコフェスタ内で実施したことにより集客の効率化を図った。					
	手段の適切性	3	省エネへの取組み者数を増やすことを目的とした事業内容となっているが、宣言者数が目標を大幅に上回っている。今後は参加者が着実に多くのCO2削減を実現できるような事業のしくみを検討する必要がある。					
	目的達成度	4	我が家のCO2ダイエット宣言の宣言者数は当初の目標値を大幅に上回っており、省エネの取組みを周知するという目的は達成しているが、今後はより効果の高い取り組みへ誘導していく必要がある。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
我が家のCO2ダイエット宣言の宣言者数は、当初の目標値を大幅に上回っている。しかし、依然として地球温暖化対策は重要な課題であり、引き続き家庭部門の省エネ化を推進する必要がある。今後は、地域ぐるみでの省エネの取組みを推進し、「環境MVP」の応募に結びつけていながら、より効果の高い取り組みへ誘導するしくみに改善していくなど、効率的に事業を実施していく。						改善		